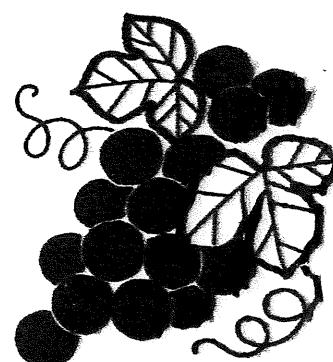




(昭和58年9月25日)

....はじめに....

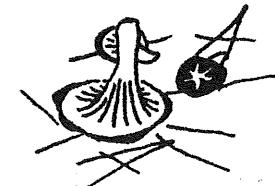
夏季キャンプ、特に今年は15周年記念合同キャンプ →
八ヶ岳山麓に8団全員集合！ 素晴しかったですね
各隊それぞれ、みのり多い裏を過したことでしょう。
暑かった夏が過ぎ、秋風が肌にこち良き季節。上進、進歩
季節もあります。各自訓練の成果をお互いに發揮して頑張っていただきたい。
又新入隊員を迎える季節でもあります。
小さい者へのいたわりの気持ち今一度考えて、外面 内面共に
豊かになってほしいと思います。
(木田)



第87号
(雨季員広報)

9月度会議報告

- 日 時 昭和58年9月3日(土) PM 7:30~
- 場 所 北口商店会事務所
- 出席者 東海林、天野、橋本
CS1 藤崎、大西、織茂、古賀、大澤
CS2 深沢、横田、桂、万田、平井
BS 竹之内、赤城、野呂、高橋、田中
SS 島田
RS 横田



地区関係

- ・SS合同野営(スカウト6名参加、意義ある三泊四日を過しました。
- ・ボーアラリー 9月15日(祝) 於 三浦海岸、武山オリエンテーリング
 - ・杉並1、2団以外の隊長が下見を行いました。
 - ・ポイント12ヶ所、手旗、ロープ、野草を摘むなどのゲーム。
 - ・スカウト 280名 リーダー 36名 総340~350名参加の予定
 - ・ローバスカウトの支援の依頼あり検討中
 - ・各隊リーダーの支援お願ひします。
 - ・当日 三浦海岸駅に10:00~ 3:30 —— 落選 5:00の予定
- ・カブラー(=ついで) 10月30日 町田公園
 - ・各団でポイント7ヶ担当する、具体的には検討中。
- ・ボイスカウト 救急法講習会
 - ・9月18日(日) 於 救急消防署
 - ・対象 2級以上の卒2
- ・北八ヶ岳にて遭難
 - ・杉並12団 シニアスカウト1名 BS副長とアドベンチャーキャンプ実施中に道に迷い48時間行方不明、捜索隊出動直前に自力で下山一命は大事に至らなかったが、反省すべき点多くお互いに注意して行動をしらへがうです。
- ・10月16日(日) 指導者講習会 於 井草公民館
- ・10月8日~10日 団委員長特修会 於 オリンピックセンター 清水教習所

団関係

- ・荻窪区民センター主催 相撲大会 に於けるテント借出しのお礼がありました。
- ・9月7日~8日 白山神社祭礼奉仕 (BS, SS隊)
- ・9月4日(日) 新入隊員説明会 於 区民センター PM 1:30~
 - (各隊長 1:00集合)
- ・赤・羽根共同募金 例年通り 10月1日(土) 実施

各隊報告

CS1隊

- ・夏季キャンプ終了後各組集会にて、次のテーマに挑戦。
- ・10月16日 隊集会
- ・10月1日 赤い羽根共同募金
- ・10月2日 特別隊集会 野外料理 於五日市

CS2隊

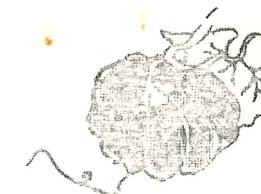
- ・9月23日 隊集会 (雨天の場合25日)
カブネツリ (ゲーム中心) 各組ごとゲームコーナー

BS隊

- ・8月27~29日 2班体制マップ実施 於現オ川
- ・リーダー会議

SS隊

- ・シニア合同野営 6名参加 (8泊4日)
技能車両係の若手委員の協力をお願いしたい。



- ・8月20日 夏季キャンプ反省会
- ・9月4日 BSとの合同行事の委員会
- ・9月12日 隊集会 (外グロ)

- ・9月18日(土) 欠母の会予定 (夏季キャンプの報告も兼ねる)
- ・9月25日(土) 8月よりの上進の合同行事オーバーナイト

RS隊

- ・白山おまつりの奉仕
- ・ボーカリーライブの奉仕 (6~7名)
- ・新入隊員説明会の奉仕 (2~3名)
- ・隊の計画
「フォーラムの季節」、ハフオラムなどの称を形で実施する方針討中。

その他

- ・新入隊員に対する説明会が 9月4日(日) PM 1:30~ 実施されます。
今年の申込み状況は多くはないがボイスカウト活動も真剣に考えて入隊させたい……の親の態度がうながされるほど嬉しい事だと思います。
- ・15周年記念合同キャンプ実施会
9月13日(火) 7:00~ (会場不明) 於木津川温泉



7月度委員会報告

- | | | |
|------|-----------------------------|---------------|
| ・日 時 | 昭和58年9月 | PM ク:30~ 9:30 |
| ・場 所 | 東海林医院 | |
| ・出席者 | 東海林、天野、楠本、小嶋、今村、磯部、佐瀬、加藤、島田 | |

〔地区関係報告〕

- ・BS、SS 対象救援法講習会 9月18日(日) 8:30~ 5:00 施設見消防署
- ・地区BSラリー 9月15日(祝) 於 三浦半島 武山オレンジリーフコース
総300名(リーダー含) 参加
地区よりの要請により現地委員としてCS1隊より6名奉仕する。
- ・CSラリー 於野川公園 (詳細は未定)
- ・SS合同野営 8月より6名参加 ~ 地域より激励賞として 1名 5000円補助
- ・ハサウエー競走 (移動12回)
野辺山のキャンプの前 BS副長とSS2名と1名 先行→大泉
シニア挑戦キャンプに24時間行方不明 ~ 自力で下山し出来ました。
- ・团委員長特修所 10月8日~ 19日



〔団関係〕

- ・萩原公民センターより相模大会の街頭宣伝マスターのお礼がありました。
- ・北口商店会主催の盆踊り 27~29日 (リーダーのべ33名奉仕)
- ・白山神社祭礼奉仕 BS、SS隊スカウト
- ・CD 新入隊員の説明会 (於公民センター) PM 1:30~ 4:00
尚面接 9月11日(日) () () ()
- ・赤い羽根共同募金 (3000本) 箱 24箱 10月1日(土) 実施
CSI 10~12:00, CS2 1:00~3:00 BS 3:00~5:00
(猪俣南口交差点に預け3~終了後)



〔各隊報告〕

- ・SS隊の ハヤブサ章挑戦に際して進歩委員(若手委員)の協力をお願いしたい。
- ・CS1隊 10月2日 野外料理 於5日市
- ・BSラリーに関する RS隊の奉仕 交通費 1,600~ 参加費 2,00~ ~ 5名奉仕
(同より 1,000~ の補助をする事になりました)
- ・15周年記念行事
式典委員会 --- 各隊会長、团委員会、育成会より3名
(書類整理も含め)
团委員会より ~ 楠本、小嶋、磯部 の3名にお願いしました。

<SS隊だより>

「ポスト夏キャンプ雑感」

島田

- 大きなイベントの夏キャンプが終ると、スカウトはそれまでの残りの夏休みを過すのに精を出し、委員会も9月以降の活動の新委員会が、スタートするまでお休みという訳で、ちょっとした句読点です。
 - それでも、夏キャンプ反省会は、写真、8mm上映などなど、キャンプ当日の雰囲気に還って、お互に仲間意識が育つていいのがうれしい事です。
 - スカウトのハンビリとは対象的に、キャンプ感想文はまだか、夏キャンプの後仕事はどうなっているか、リーダー会議は何時やるんだと、何かと騒しいようですがやはりリーダーも句読点の気分です。
- 今年も残り四半期を残すだけ、9月は新入スカウト説明会を始めとして結構タイトなスケジュールです。
- 9月以降はグリーンニア上進、年プロの各委員会、技能章取得についてのフォロー、そして出来れば年内にキャンプの検討の声がスカウトから出ています。年プロ全体からみるとキャンプの回数をもう少し増やすのが理想と思うのですが、何んといつも個々の技術習得と併せて野外生活の楽しさを見つけるのは某地での経験以外にはないのです。

…9月の予定…

1) BS-SS合同行事

オーバーナイト2ndグリーンニア上進と入隊式正丸峰、宿泊が予定

・9/4、9/10 委員会

・9月18日(日)下見、BS隊と打合せ

2) SS隊父母の会 9月17日(土) 於 木沼出張所

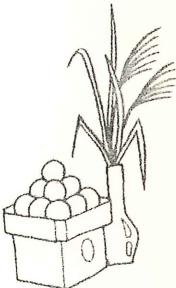
BS隊と合同で夏キャンプ報告、今后の予定について

3) 白山神社奉仕 9月7日、8日

4) 救急法受講 9月18日(日)

5) 東連スカウトアーマ 9月末

6) 地区BS会議 9月15日(土)



カウト感想文

「シア合同野営に参加して」 日高班 磯部 和宏

今回の合同野営は最も楽いキャンプだった。そして最もつらいキャンプでもあった。とにかく極度につらかった。何しろ、荷物の量を減らされたのだから。この荷物を減らす作業が僕は一番の苦手なのだ。何故苦手かというと、僕は今迄あまりやったことがなかったからである。何しろ力だけはいるから荷物を減らすという感覚がない。荷物はあればある程便利だからである。

しかし今回のキャンプはつらいことはわかりきっている。だから何が何でも荷物を減らさなければならぬ。そして次の上級、新たな問題が発生した。

(5)

その新たな問題とは「荷物を15kg以上は持たせよ」との命令である。

水が3Lで3kg。食糧も2L+2Lは5kg。つまり個人装備はたったの9kg位しか入れられないのだ。僕のかわいそうな頭はパニクをよぶてしまった。

水筒に水が1Lで1kg。お弁当と寝袋とザック等で3kg。着替えも1kg位。燃料、ストーブで3kg位。食器、ナイフ等で1kg位。どう考えても他の物は入らない。

例えればライト、替のくつ。非常食。まだあれば時間と紙のまだに残るでしょう。とにかく、こんな慎重な個人装備では、ハウタングが大変である。

水とストーブと燃料以外はみんな軽いのがばかりである。

そんな事をやっていたので出発の時にはもうくたびれていたのである。三ツ峠はさつきだった。

どの位さつきだったかは、他の人の話を読んで下さい。しかしさつきに比べて大変良の勉強になった。山とは人生であり、勉強も又山である。と僕は感じた。林の中を進むべき道しか見えない道を歩いている時、視界が開けて、自分からどこに登ったか1目でわかる時。そして草原にて、進むべき道が2~3km先まで見えた時これ等は、勉強している時にもよくある事である。

自分が今何を学んでいるかしかわからず、何んの為に学んでいるかが理解できていない時テストが終って、自分の悪かった点が良くわかった時。そして進路を見定める時。

昔の人が「山は人生だ」と言った意味が理解できた。

あれ以来、どんな状況でも「三ツ峠に比べれば……」という考え方で生まれた。今まで勉強に集中できない時は苦しくなるのごめんなさいが、今ではそんなことはない。やはり三ツ峠は素晴らしい教訓を与えてくれた。

あの山はSS隊でもせひ登るべき山だ。そして皆さんも僕が感じた事をぜひ感じてほしい。

「シアの合同訓練キャンプ」を終えて 白馬班 横田 浩

本当のことと言うと、ぼくは「シア合同キャンプ」の目的、内容をほとんど理解していないかった。これはきっとぼくだけではなく、8国から参加したほとんどの人間がそうであったと思う。なぜなら、委員会作成の計画書を見ると内容は…

「技能章修得」になってしまっており、出発前に調べなければならないことがたくさん書いてあるからだ。8国SS隊から参加した人間はそんなことをやってはなかっただけではなく、今回の合同訓練キャンプを、技能章修得のためだけのキャンプではなかったと思う。むしろぼくは、技能章修得よりも大変な事を学んだと思う。

それは「集団生活」というか、「仲間」言葉によると何んな単語にしかならないけれどそれはとても大きなもののような気がする。説明するとぼく達が登った山は

BS活動で登った山の中では、最高にきつい山だったと言えるだろう。そんな山をぼくらのバディ(グループ)は、ぼく、磯部、田中(宏)の3人で登った。

歩くとも、歩いても、頂上にはつかない、信じられないような登り道だった。

地図を見てもまだまだあるなどいうのがわかる。ものすごくつらい思いをして、やっと目的地の山頂に着いた。太陽の下ちろみがきれいに見えた。

(6)

雲一つない青い空、そんな世界から、太陽がおちはじめ、まっ赤な夕陽の世界へと10分もしないうちに、まっ暗な夜の世界へと、さんざんつらの思いをして、こんな風景をみると、なぜか知らないけど、なんなく、笑いがこぼれてしまう。

全く知らない団の仲間とも、目が合ふと微笑がこぼれる。なんだろと考ふる力もなく、5時頃、つかれきってねこぼす。2泊3日の移動キャンプを終りみんな山中野営場へと向う。一看に何百人の人間が集結した時。

「こいつらもみんなをれぞれにそら、男いとしてこの山中野営場に歩いてきたんだなあ。」と思うと、急に話がしたくなる。そしてぼくは、知らぬ間に初めて会った、全く知らない、団の何十人といら人間と仲間になり、いつしか親友になっていた。自分たちのエスのつらかったこと、BS活動のこと、そして学校のことなどなんでも話せる。

出発前には話す気にもなれなかつた奴と、こんなに話せることなんて、信じられないような気がした。次の日、はつきりいってバスに乗りわかれがつらかつた。

「又いつか会えるよな。」と言って別れた仲間に又会いたい気がする。
合同キャンプで本当の仲間を作れたような気がしてぼくはなぜか、満足感でいっぱいであった。

KANTOK VIAE VERSA

RS隊 横田

★ 8月22日(月) 実例隊集会 於 隊長室

1) 夏キャンプ報告

全日程(8/2~8/7)参加: スカウト7ナリーダー1

途中(8/6~8/7)参加: スカウト3ナリーダー1

会計報告 支出総額 約 153,249.-

* 本年度の夏キャンプはローバースカウトのキャラバン訓練であったと云ふ。

車3台に分乗して、いろいろな條件で、いかに確実に、素早く、団体行動がとれるかが課題であった。いろいろ反省を残すところがあつたが、スカウトによる一食シフの企画は成功であった。創意工夫と訓練によってさらにうまい野外食をいただきたいものだ。

一隊長 -

2) 各種奉仕のボランティア

A: 北口商店会盆おどり

8月29日(日): 田淵 竹之内、山口、尾平

30日(月): 桂、天野、青木

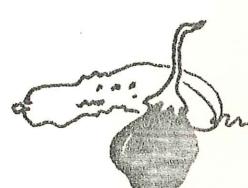
B: 8團ボーカスカウト説明会

9月4日(日): 青木

C: 彩葉地区ボーカスカウト 於 三浦海岸

9月15日(祝): 竹之内、桂、山口、桜井、尾平、天野

(7)



* 当8団の最大の誇りの一つに奉仕に対する多くのボランティアを持つことがある。特にローバースカウトの自からそれを名前として奉仕するスカウトたちの数の多いことは隊長として最大の喜びであると同時に、スカウト諸君に心から敬意を表す。

北口商店会 盆おどり奉仕

記 横田

* 萩窓北口商店会会長(当団育成会役員)今村國治氏により、上記に廻して一日6名以上延18名の要請があり、当団、団委員会より団委員及び隊リーダーの男性の方々に奉仕依頼が発せられましたところ、下記の延30名の方々の奉仕を行なわれました。地域団である当団のPRのためにも大変有効でありました。

ご苦労さまでした。

・ 8月27日(土)

団委員: 小嶋、橋本

8月28日(日)

: 天野

CS1: 古賀,

: 藤崎、大西

CS2: 万田 平井

: 万田

BS: 竹之内、高木、高橋

: 竹之内、林、高橋

SS: 島田

: 横田、天野(第) 山口、田淵

RS: 横田

: 竹之内、尾平、天野(雅)

・ 8月29日(月)

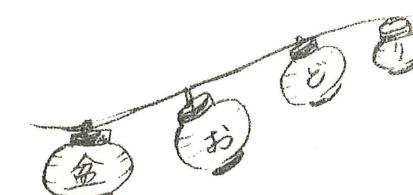
団委員: 天野

CS2: 万田

BS: 竹之内

SS: 島田

RS: 横田



去39月11日(日)面接の結果決まりました昭和59年新入隊員名を記します。

11隊)

(11隊)

| | |
|-----------------------|-----------------------|
| ・横山 宗隆(萩原小) 333~5330 | ・太田 和典(若杉小) 392~2047 |
| ・横田 良平(桃二小) 398~8205 | ・菅原 啓一郎(桃二小) 391~8628 |
| ・遠藤 陽雄(松木小) 317~1070 | ・浅田 圭吾(若杉小) 392~9755 |
| ・(深) 駿偉(若杉小) 392~4591 | ・堀川 大輔(西田小) 354~9145 |
| ・沢田 彰人(菅掛小) 399~3967 | ・天野 祐介(杉五小) 398~4229 |
| ・丸山 節英() 394~8903 | ・儘田 熟夫(菅掛小) 396~9848 |
| ・今村 徹治() 396~9993 | ・守室 秀文(杉五小) 391~8247 |
| ・山室 友一郎(桃二小) 辞退 | ・別所 重久(菅掛小) 391~8247 |
| (隊連絡 副長 織茂洋子) | (副長 横田 敦子) |

(391~8459)

(18)

(392~5494)

* 15周年合同キャンプ反省会 9月13日(火) 7:00~ 於天沼山張所
夏最大のイベントハッピーハウスに於ける合同キャンプの反省会が各隊の8ミリの映写と兼ねて行われました。好天に恵まれ大成功に終了しましたが反省、感想の主なものを記します。

- ・ 場所が大変良かった。
- ・ 上級スカウトの活動を見ることができて参考になった。
- ・ たてわりのイベントが最高であった。シニアスカウトが模範を示してくれた。
- ・ BSのテントサイトを見た事ができて良かった。
- ・ 隊として一日行事に挑戦した中途半端になつたのは残念であった。
- ・ 8団の良い所が集結したキャンプであった。
- ・ キャンプファイヤーが素晴しかった(各隊の盛り上がりは近年になかった) etc

《15周年記念合同キャンプ会計報告》 (58.9.2)

| 科 目 | 収 入 | 支 出 | 残 |
|---------------|-----------|---------|---|
| 合同キャンプ費 | 300,000 | | |
| 下見費 ハストハウス補助費 | | 309,900 | |
| " 有遠ガリソン代 | | 79,614 | |
| | (110,518) | 189,482 | |
| 教材費 村田(ハチ穂村) | | 6790 | |
| ゲーム用リボン地 | | 7860 | |
| 記念ペナント、マテ地 | | 57,420 | |
| キャンプファイア 斎代 | 10,000 | | |
| 炊事用 " | 12,000 | | |
| 管理人おみやげ代 | 3000 | | |
| | (97,020) | 92,412 | |
| デイパーティー開催 | | | |
| 焼そば | | 22,349 | |
| おもち(盒飯、山菜お油) | | 45,840 | |
| おさしみの | | 21,795 | |
| みつ豆 | | 9,745 | |
| 漬物 | | 1,950 | |
| ピラフランチ | | 9,100 | |
| 麦茶 | | 590 | |
| | (92,369) | 43 | |



横がおシリーズ (24)

天野 茂男 (あとの よしお) (副田委員長)

… 天野さんのこと… 島田 知子(田委員)

天野さん、最初の出合いは、(大変印象的でした)、4年前 CSI隊の夏季キャンプの先発隊ご派遣で私達を甲武キャンプ場のバス停で迎えて下さった時でした。

緑の樹々とバックにして立ついらした天野さんはすぐ貴重がある遊びの磨じでステキでした。その後BS隊キャンプの支援で一緒にされました。

貴重は変わりませんでしたが、とにかくやさしいお人柄におどろきました。

皆様ご存知の様に BS隊キャンプにとてなくはならぬ存在の方なのです。

その終始変わらぬ支援振りには頭が下ります。

カマドの火と静かに見守る天野さんの姿はまるでほのぼのとした火と一体となって社歎な感じさえするのです。そして次のルードが周りの人をホッとさせるのです。

— 不思議です — そんな天野さんの姿を見ると私達も頑張らねばと思うのです。
10年間も休まずの支援などだれにでも出来る事ではありません

本当に有難うございます。副田委員長、育成部会長と大変にご多忙な天野さん。

益々お元気で8団の火を燃やし続けて下さいよ

ヨロシクお願ひいたします

